狭山市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

禁山市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

狭山市廃棄物の処理及び再利用に関する条例(平成7年条例第26号)の一部を次のように改正する。

目次中「第36条」を「第37条」に改める。

第36条を第37条とし、第35条の次に次の1条を加える。

(市が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格)

第36条 法第21条第3項の条例で定める資格は、次のとおりとする。

- (1)技術士法(昭和58年法律第25号)第2条第1項に規定する技術士(化学部門、上下水道部門又は衛生工学部門に係る第2次試験に合格した者に限る。)
- (2)技術士法第2条第1項に規定する技術士(前号に該当する者を除く。)であって、廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験(以下「実務経験」という。)を1年以上有するもの
- (3)2年以上法第20条に規定する環境衛生指導員の職にあった者
- (4)学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づく大学(短期大学を除く。次号において同じ。)又は旧大学令(大正7年勅令第388号)に基づく大学の理学、薬学、工学又は農学の課程において衛生工学(旧大学令に基づく大学にあっては、土木工学。次号において同じ。)又は化学工学に関する科目を修めて卒業した後、実務経験を2年以上有する者
- (5)学校教育法に基づく大学又は旧大学令に基づく大学の理学、薬学、工学、農学 又はこれらに相当する課程において衛生工学及び化学工学に関する科目以外の科 目を修めて卒業した後、実務経験を3年以上有する者
- (6)学校教育法に基づく短期大学若しくは高等専門学校又は旧専門学校令(明治 36年勅令第61号)に基づく専門学校の理学、薬学、工学、農学又はこれらに 相当する課程において衛生工学(旧専門学校令に基づく専門学校にあっては、土 木工学。次号において同じ。)又は化学工学に関する科目を修めて卒業した後、 実務経験を4年以上有する者
- (7)学校教育法に基づく短期大学若しくは高等専門学校又は旧専門学校令に基づく 専門学校の理学、薬学、工学、農学又はこれらに相当する課程において衛生工学 及び化学工学に関する科目以外の科目を修めて卒業した後、実務経験を5年以上 有する者

- (8)学校教育法に基づく高等学校若しくは中等教育学校又は旧中等学校令(昭和 18年勅令第36号)に基づく中等学校において土木科、化学科又はこれらに相 当する学科を修めて卒業した後、実務経験を6年以上有する者
- (9)学校教育法に基づく高等学校若しくは中等教育学校又は旧中等学校令に基づく 中等学校において理学、工学、農学に関する科目又はこれらに相当する科目を修 めて卒業した後、実務経験を7年以上有する者
- (10)実務経験を10年以上有する者
- (11)前各号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると市長が認める者 別表第1上記以外の一般廃棄物の部普通世帯等から排出された一時多量廃棄物(総量50キログラム以上のもの)の項中「普通世帯等から排出された一時多量廃棄物」 を「普通世帯等から排出され、市の処理施設に搬入する廃棄物」に改め、同部に次のように加える。

スプリング入りベッド	1品目につき	1,000円
マットレス		

別表第1備考に次の2項を加える。

- 4 普通世帯等から排出され、市の処理施設に搬入する廃棄物(総量50キログラム以上のもの)で、スプリング入りベッドマットレスが含まれている場合の処分手数料の額は、10キログラムにつき算出した処分手数料の額にスプリング入りベッドマットレス1品目につき算出した処分手数料の額を加算した額とする。
- 5 普通世帯から排出された粗大ごみとして収集及び運搬されたスプリング入り ベッドマットレスの処分手数料の額は、収集・運搬手数料に含むとされる処分 手数料の額及びスプリング入りベッドマットレス1品目につき算出した処分手 数料の額とする。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

## 平成24年11月27日提出

## 狭山市長 仲 川 幸 成

## 提案理由

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」による廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、市が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格を定めるとともに、スプリング入りベッドマットレスの処分手数料を定め、併せて条文の整備をしたいので、この案を提出するものである。